



「まちづくりふれあいトーク」での

ご意見やアイデアを

まちづくりの生かしていきます

平成30年度まちづくりふれあいトークが、9月1日から10月29日にかけて地区単位で開催されました。延べ289人の皆さんに参加いただき、教育やシティブロモーションに関するご意見・ご提案をいただきました。テーマ別にご意見と市の考えをお伝えします。

御前崎の教育に対する意見

問「しおかぜ先生」を採用している理由は。

答 児童・生徒の学力向上と不登校生徒減少を目指して採用しています。少人数指導などを実施し、きめ細かな支援をしています。

問 中学校の部活動に地域の専門的な技量を持っている人を採用して教育に当たってもらうことはどうか。先生方の負担も減らすことができますか。

答 人材が豊富で、外部の人に部活動を指導してもらっている市町もありません。本市は人材が豊富ではありません。また、部活動も教育の一環であり、生徒指導という側面も併せ持つと考えています。一

方で、教師の多忙化解消は問題となっており、改善していかねばならない課題です。

問 部活動の技術指導だけではなく、生徒指導もできる人を公募し、教育委員会が認定しながら一緒にやっていくシステムを構築してはどうか。

答 他市の動向を踏まえ検討してまいります。

問 学校教育も大事だが社会教育にも力を入れてもらいたい。青少年健全育成に力を入れるとか、生涯学習も大切である。

答 教育という一般的なには学校教育が主になってしましますが、広い視野を持って考えた場合には、社会教育がその土台になるものだ

と考えています。意識して取り組んでいきます。

問 今の子どもたちが世の中に出ていくには、人工知能（AI）が今以上に発達している世の中で生きていくことになる。AIが得意な分野は知識とか論理。これから子どもたちが大きくなったときに必要になると思われる右脳の教育、ひらめきとか創造、そういうものを強化するようなカリキュラムをぜひ御前崎市の小学校、中学校に取り込んでほしい。

答 ひらめきや創造力の育成は、新学習指導要領の中でも求めているものです。本年度から新しい学習指導要領の授業なども始まっています。それに沿った形で当市も進めていきたいと考えています。

